

DAY1:生成AI



慶應義塾大学 政策・メディア研究科特別招聘教授(国際)
慶應義塾大学 KGRI サイバー文明研究センター共同センター長

デイビッド・ファーバー

慶應義塾大学で現職に就く前は、カーネギーメロン大学コンピュータサイエンス学部にて名誉教授を務めた。ベル研究所、ランド研究所、ゼロックス、カリフォルニア大学アーバイン校、デラウェア大学、ペンシルバニア大学などで研究員・教授を歴任した。米国政府連邦通信委員会(FCC) 主席技術者、大統領情報技術諮問委員を歴任。2018年、アメリカ科学振興協会フェロー。Sigcomm 賞、ジョン・スコット賞など受賞多数。ARPANET に NSF ネットを接続した功績で「インターネットの祖父」と称され、日本・アジアのインターネットの普及にも大きく貢献し、「インターネットの殿堂(バイオニア部門)」入りを果たした。



多摩大学情報社会学研究所所長・多摩大学教授
情報社会学学会名誉会長 公文 俊平

1935年生まれ。東京大学大学院社会科学部経済学修士修了、インディアナ大学経済学部大学院 Ph.D. 取得。カナダ・カルトン大学客員准教授、経済企画庁客員研究員、東京大学教養学部教授、米国・ワシントン大学客員研究教授を歴任。1990年、学校法人国際大学教授。1993年、ハイパーネットワーク社会研究所所長、国際大学グローバル・コミュニケーション・センター所長。2002年、ハイパーネットワーク社会研究所理事。2004年、多摩大学情報社会学研究所所長・多摩大学教授に就任、現在に至る。2005年、情報社会学学会を設立し、初代会長に就任。現名誉会長。



多摩大学情報社会学研究所 主任研究員・教授 会津 泉

1952年生まれ。利用者中心の視点でパソコン通信、インターネットの普及を推進。情報社会学についての研究・実践を続ける。1985年ネットワークデザイン研究所設立。1991年国際大学 GLOCOM に参加。1993年ハイパーネットワーク社会研究所設立。1997年アジアネットワーク研究所(マレーシア)設立。2000年帰国後はインターネットガバナンス、世界情報社会リミットなどの政策議論に参画。ハイパーネットワーク社会研究所所長・理事長(2013~15年)。東日本大震災後、ICTによる支援・調査を行う。最近は、「ソーシャル・ファブ」、「ネクストモビリティ」、「生成 AI」などの研究に従事。著書『パソコンネットワーク革命』、『進化するネットワーク』、『3.11被災地の証言』(共著)ほか



日本アイ・ビー・エム株式会社
副社長執行役員 最高技術責任者 兼 研究開発担当 森本 典繁

1987年入社後、メインフレームや PC 用のディスプレイの開発を担当。1995年、米国マサチューセッツ工科大学への留学、MIT Media Lab での研究員を経て IBM 東京基礎研究所に入社。2006年に米国 IBM フロリダ研究所赴任。2008年グローバル研究開発担当に就任し、世界の10以上の地域で新規基礎研究所設置の為の評価や計画を立案。2009年に IBM 東京基礎研究所所長に就任。2015年に IBM Asia Pacific に転出し域内10か国を統括する Chief Technology Officer を担当。2017年に日本に帰国し、執行役員 研究開発担当に就任。2020年に最高技術責任者を兼任。2021年に常務執行役員に就任。2023年より現職。情報処理学会会長、IT 連盟理事、SMBC グループ・テクノロジー・アドバイザー、至善館大学特任教授、経済産業省半導体・デジタル戦略検討会議メンバー、等



桜美林大学リベラルアーツ学群、教授 平和博

早稲田大卒。1986年、朝日新聞入社。シリコンバレー駐在。編集委員、IT専門記者などを担当。2019年4月から桜美林大学リベラルアーツ学群教授(メディア・ジャーナリズム)。2020年4月~2021年3月、国会図書館客員調査員。2022年9月から日本ファクトチェックセンター運営委員。2023年5月から科学技術振興機構社会技術研究開発センター(JST-RISTEX)プログラマアドバイザー。著書『チャット GPT vs. 人類』(文春新書、2023年)『悪のAI論 あなたはここまで支配されている』(朝日新書、2019年)『信じたいはけない 民主主義を壊すフェイクニュースの正体』(朝日新書、2017年)



デジタルハリウッド大学教授・メディアライブラリ館長
多摩大学大学院客員教授、株式会社早稲田情報技術研究所取締役
合同会社ブンシン CEO、データセクション株式会社創業者・顧問 橋本 大也

ビッグデータと人工知能のベンチャー企業データセクション株式会社の創業者。同社を上場させた後、大学教員に転身し、教育とITの領域でイノベーションを追求している。2023年に生成 AI の教育プログラムを開発する合同会社ブンシンの CEO に就任した。著書に『英語は10000時間でもなる』(技術評論社)、『情報科学 Web 時代の羅針盤 213 冊』(主婦と生活社)、『データサイエンティスト データ分析を動かす知的仕事人』(SBクリエイティブ)、『情報力』(翔泳社)、翻訳書に『アナロニア AI の次に来るもの』(早川書房)などがある。書評家として洋書を紹介するブログ Booklog.com を運営しており、『WIRED』日本版などのメディアにも寄稿している。



NTT 執行役員 研究開発マーケティング本部
研究企画部門長 木下 真吾

大阪大学卒、ロンドン大学 University College London 大学院修了。1991年 NTT 入社。研究所にて、通信、暗号、AI 関連の研究開発および海外研究所設立、ベンチャー提携などに技術経営に従事したのち、超歌舞伎、音楽ライブ、アート、東京2020大会への最先端技術適用プロジェクトを統括。2021年 NTT 人間情報研究所所長に就任し、音声・画像メディア処理、大規模言語モデル、サイバネティクス、XR、人のデジタルツインなどの研究を統括。現在、執行役員 研究企画部門長として NTT 研究所全体を統括。大阪芸術大学 アートサイエンス学科 客員教授、JST 未来社会想像事業 研究開発運営会議委員など兼任。



ジャーナリスト 服部 桂

1951年生まれ。早稲田大学理工学部で修士取得後、1978年に朝日新聞社に入社。84年に AT&T 通信ベンチャー(日本 ENS) に出向。87年から89年まで、MIT メディアラボ客員研究員として未来のメディア研究。科学部記者や雑誌編集者を経て2016年に定年退職。関西大学客員教授。早稲田大学、女子美術大学、大阪市立大学などで非常勤講師。著書に『VR 原論』、『マクルーハンにはメッセージ』、『人工生命の世界』等。訳書に『デジタル・マクルーハン』、『ハッカーは笑う』、『パソコン創世 第3の神話』、『フィクトリア朝時代のインターネット』、『謎のチエス指し人形「タク」』、『チューリング 情報時代のバイオニア』、『テクニウム』、『<インターネット>の次に来るもの』、『ホールアースの革命家 スチュアート・ブランドの奇数な人生』、『アナロニア』(監訳)など多数。

DAY1:30周年パーティー



ヴァイオリニスト 廣津留 すみれ

大分市出身。12歳で九州交響楽団と共演、高校在学中に全米ツアーを行い、NY・カーネギーホールにてソロデビュー。ハーバード大学(学士)・ジュリアード音楽院(修士)卒業後、NYで起業。ハーバード大学在学中に世界的チェリスト、ヨーヨー・マ氏との度々の共演を果たしたのを皮切りに、米国にて演奏活動を拡大。自身の四重奏団を率いてリンカーンセンターや MoMA 近代美術館にて演奏するほか、ワシントン DC のケネディセンターにて野平一郎氏と共演。The Knights のメンバーとして録音したギル・シャハムとの最新アルバムがグラミー賞 2022 にノミネート。近年は東京フィルハーモニー交響楽団、関西フィルハーモニー管弦楽団との共演や、『徹子の部屋』(テレビ朝日)『歌える! J-POP』(NHK-BS)等での演奏も話題に。現在、国際教育大学特任准教授、成蹊大学客員講師。テレビ朝日『羽鳥慎一モーニングショー』金曜レギュラー。著書に『超・超学術』など多数

DAY2:量子コンピュータ



blueqat 株式会社代表取締役社長 湊 雄一郎

東京都生まれ。東京大学工学部卒業。隈研吾建築都市設計事務所を経て、2008年に MDR (現 blueqat) 株式会社設立。2015年総務省 R&D Vation 最終採択、2017~19年内閣府 ImPACT 山本プロジェクト PM 補佐。2019~2021年文科省さきがけ量子情報領域アドバイザー。2022年 SEMI 量子コンピュータ協議会委員長を務める。最近の研究テーマは深層学習・量子機械学習・テンソルネットワーク・テンソル分解など。



日本電気株式会社
セキュアシステムプラットフォーム研究所ディレクター 白根 昌之

1998年 東京大学大学院工学系研究科物理工学専攻修士課程修了、同年日本電気株式会社(NEC)に入社し、中央研究所に配属。以来、超高速光信号処理用デバイス、赤外線センサ、量子情報用デバイスの研究開発に従事。2004年より1年間スタンフォード大学客員研究員、2015年より3年間 同社宇宙システム事業部に人工衛星搭載用センサ開発に従事。2018年より量子コンピューティング技術をはじめとする量子技術の研究マネジメントに従事。現在は同社セキュアシステムプラットフォーム研究所ディレクター。2019年より NEC-産総研量子活用テクノロジー連携研究ラボ長を兼務。



デロイト トーマツ コンサルティング 寺部 雅能

自動車系メーカー、総合商社の量子プロジェクトリーダー、東北大学客員准教授を経て現職。量子分野において数々の世界初実証や日本で最多件数となる海外スタートアップ投資支援を行い、広いグローバル人脈を保有。国際会議の基調講演や TV などメディア発信も行い量子業界の振興にも貢献。著書『量子コンピュータが変える未来』。ほか、ベンチャーキャピタル顧問、海外量子スタートアップ顧問、経産省 量子 AI プロジェクト技術推進委員長、文科省 量子人材育成プロジェクト講師も務める。



株式会社 QunaSys COO 松岡 智代

株式会社 QunaSys 最高執行責任者 (chief operational officer, COO)。京都大学工学研究科にて博士号を取得後、アーサー・デ・リトル・ジャパン株式会社に参画する。素材業界のイノベーション創出、新規事業開拓をテーマとして、国内外の多くの企業のプロジェクトに従事する。化学・素材・自動車を中心とした製造業に対する新規事業戦略 / 中長期戦略の策定支援を行う。その他、一般的なデューデリジェンスや官公庁案件、大学の産学連携組織を対象とした案件等にも携わる。現職では量子コンピュータソフトウェア開発ベンチャーにて、事業開拓やエコシステム形成に奮闘している。



村上憲郎事務所 代表
公益財団法人ハイパーネットワーク社会研究所 理事長 村上 憲郎

京都大学で工学士号を取得。日立電子のミニコンピュータのエンジニアとしてキャリアをスタート後、米国 DEC 本社人工知能技術センターに5年勤務し、帰国後は DEC Japan のマーケティング担当取締役などを歴任。その後 Northern Telecom Japan 社長兼最高経営責任者、Nortel Networks Japan 社長兼最高経営責任者、Docent Japan 社長を歴任し、2003年4月 Google 米国本社副社長兼 Google Japan 代表取締役社長として Google に入社し、日本における Google の全業務の責任者を務める。2011年に退任し、現在まで村上憲郎事務所の代表として活躍中。2018年6月ハイパーネットワーク社会研究所の理事長に就任。2019年12月においた AI テクノロジーセンターを立ち上げ、センター長に就任。大分県内での AI・GPU 実証創出にも注力。他に大阪公立大学大学院 教授、大阪工業大学客員教授、会津大学参与など。